

# A. 遊びを通した学び等、子どもの豊かな成長を育む空間や仕組みの考え方・工夫

# シンプルなかたちが学びを促す

ボールトが少し傾いた、らっぱボールト状の 空間が連なり建築が作られています。壁と 屋根が一体となって地面から立ち上がるか たちは、最もシンプルに空間を作り出すもの の一つです。光の回り方、音の響き方、包ま れる感覚、登れる角度、くぐれる高さなど、空 間が子どもの身体感覚を刺激し、そこに遊 びを通した多くの学びと発見を促します。



身体感覚を刺激する らっぱボールト屋根

## 巡りたくなる家々が交流と自発性を促す

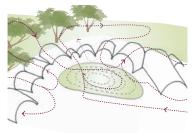
連なる十の家は一つ一つ異なります。大き な家もあれば小さな家もあり、涼しい家もあ れば音の響く家もあります。また緑の香りが 立ち込める家もあれば、陽の光が差し込む 明るい家もあります。家同士の繋がり方や囲 まれ方も様々で、子どもたちはその変化に富 んだ家一つ一つを回りたい気持ちにさせら れます。団地内の友達の家を巡って遊ぶよ うに年齢を超えた交流を促します。訪れる皆 が兄弟姉妹のように声を掛け合い、自発的 に遊び、学べる建築を目指します。



十の質を持った十の家

# 明るく開かれた建築に居場所が見つかる

建物を一箇所に固めず、曲線を描くように十 の家を敷地全体にのびやかに並べていき ます。裏のない配置は、どこにいても外から 中の様子が伺い知れ、誰もが入りやすい、 明るく開かれた建築が作られます。ここを訪 れる子どもたちは、まるで自分の家に帰って 来たかのように、ふらっと来てそこに自分の 居場所を見つけることができます。



らっぱボールトに導かれて心と身体の赴く ままに散策すると発見と出会いが生まれる

# 敷地全体を見た鳥瞰イメージ

# 緑と一体となった配置計画で地域と繋がる

敷地の中央を横断する道で隔てられるこ とのないように、敷地全体を大きく使って 建物を配置しています。両側が庭に面し、 緑と一体となった建築は、地域に流れる緑 のネットワークと繋がって緑の拠点を築き ます。人は町の緑道を散歩していると、自 然とこの場所に辿り着き、緑に囲まれた中 で思い思いに過ごしていきます。



# B. 音楽ホールと運動アリーナの共用を可能とする考え方・工夫

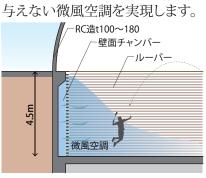
# 音響と球技に適したらつぱボールト屋根

この屋根形状は、球技に 必要な高さと、豊かな残 響時間に必要な気積を 容易に確保することが 可能です。また屋根は客 席側に向かって徐々に 高く開いており、音の集 中反響を防ぎます。さら にルーバーを屋根と壁 に並べ、バランスの良い 音環境を実現します。

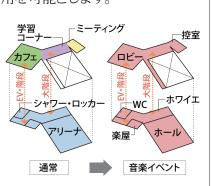


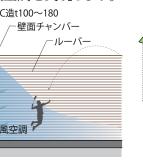
# 奏楽とバドミントンにも対応できる 大人数の演奏イベントに対応できる 静かな空調方式

住宅地への日影を減らし環境に カフェのあるフリースペースやミ 馴染むよう、ホールの高さの1/3 ーティングルームをホールに隣接 を地下に落とします。それにより して計画します。ジュニアオーケス 室内温度も安定化します。また壁 トラ等の大人数が集まる演奏イ 面全体からゆっくりと空調を行う ベント時には、そこをバッファスペ ことで、奏楽の邪魔をしない静け ースとして機能させ、弾力的な運 さと、バドミントンの羽にも影響を用を可能とします。



# 弾力的なバッファスペース

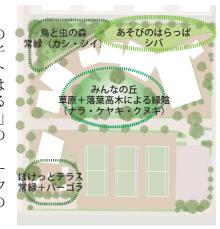




# C. 緑の丘を中心とする豊かな外部空間を実現、維持するための考え方・工夫

# 4つの庭が引き出す様々な外遊び

建物に寄り添うように敷地全体に4つの 庭を配置します。「みんなの丘」はいつも子 どもたちが集まる中心広場で屋外イベント や演奏会が行われます。「鳥と虫の森」は カシやシイの木を植えて鳥や虫が集まる 発見に満ちた森です。「あそびのはらっぱ」 はグラウンドゴルフやボール遊びなどの 多世代交流を促すあたたかな広場です。 「ぽけっとテラス」はパーゴラの下にテー ブルが置かれ、テニスの後に休憩するアク ティブシニアやママさん、また学校帰りの 子どもたちが集まる楽しい溜まり場です。



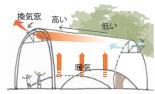
# 子どもたちの手で育てていく学びの緑

グラウンドゴルフのために短く芝を刈り、暑さをしのぐために緑のカーテンを 引き、みんなが喜ぶのが嬉しくて落ち葉を拾う。緑の維持管理は子どもにとっ て大切な社会との接点であり、学びの場でもあります。子ども自らが育てたくな る庭を作り、楽しみながら緑を自分たちで維持しいく仕組みを作ります。

# D. 適正かつ効果的にライフサイクルコストを縮減するための考え方・工夫

# 重力換気と個別空調による消費エネルギーの低減

らっぱボールト型の屋根形状を利用し、重力換気 を効果的に行います。また天井を使って自然光を 全体に拡散させることで、明るい室内環境を作っ ていきます。さらに部屋毎に利用時間帯が異なる ことから個別空調を採用し、消費エネルギーの大 幅な低減を図ります。



屋根の形状、傾きを上手に使って 効率よく通風します

# E.「その他独自の提案」について

## 団地の庭のような質をつくる

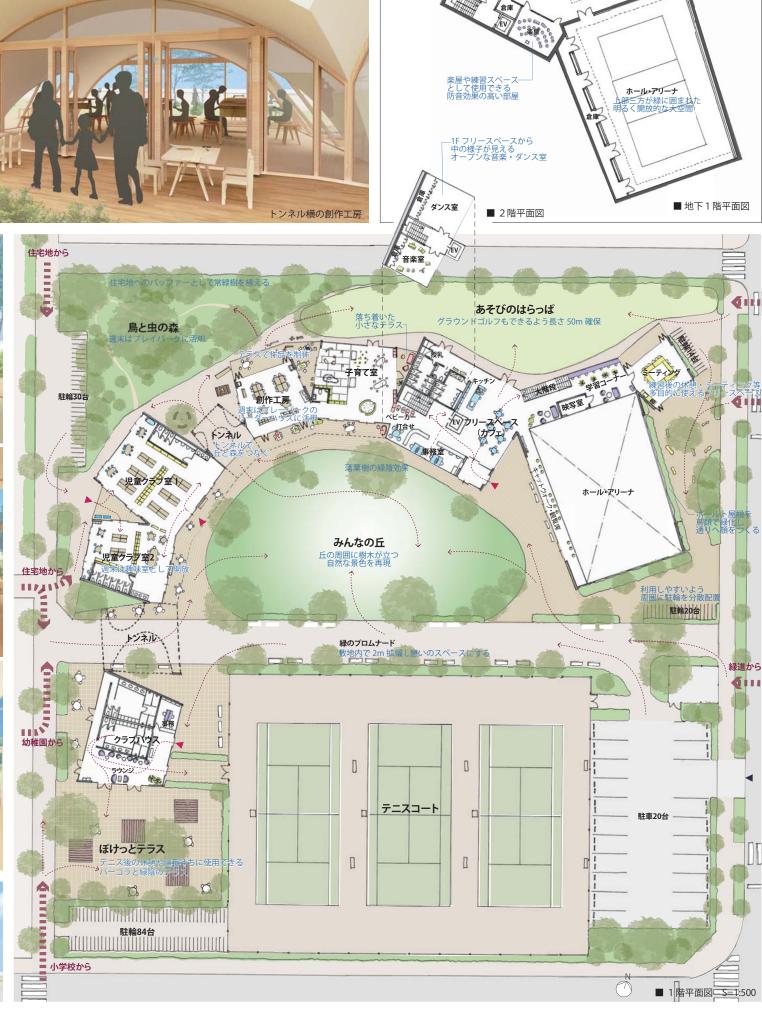
団地の庭は、公園のように開かれたものでも、戸建 の庭のように閉じられたものでもなく、やわらかく 守られ、緩やかにつながる場です。いつもの八百屋 の車、芝の上を走り回る子どもたち、木陰の下で始 まる井戸端会議。様々なモノやコトがやわらかく溶 け合い、誰もが自分の居場所を見つけられる庭で す。ここに息づく、そうした土地の記憶を引き継ぐよ うに、公と私が融合した場所をつくります。皆が気 軽に立ち寄り、其々に自分の居場所を見つけられ、 それを皆で育てていくもの。それが世代を超えた 人たちを呼び込む契機ともなり、豊かな交流の拠 点が作られていきます。











受付番号:004